

# 森づくり最前線

福島森林管理署白河支署 大平森林事務所 森林官 瀬谷 仁



展望台から望む羽鳥湖ダム

私の勤務する大平森林事務所は、福島県中通り中部に位置する天栄村の国有林約1万haを管理しています。天栄村は、昭和30年に湯本村、牧本村、大里村、広戸村が合併した際に、村の中央部にある天栄山から村名がつけられたと聞いています。天栄村は、釈迦堂川流域と鶴沼川流域にまたがる東西に伸びた形が特徴で、古くから会津と中通りを結ぶ重要な交通の要衝です。また、当事務所管内には、アースダム（主に土を用い、台形に築いたダム）としては全国屈指の規模を誇る、羽鳥湖ダムがあります。白河地域に貴重な農業用水を供給しているほか、ダム周辺には、国有林を活用したサイクリングロードやスキー場等多くのレクリエーション施設が整備されています。近くの天栄、湯本、二岐地区には温泉もあり年間を通して様々な観光を楽しむことができます。今年こそは私も参加し、山頂の大パノラマを堪能したいと思っております。平安時代からの流れをくむ御鍋神社もあり、平成12年林野庁「森も巨人たち100選」選出されたサワラの木も

ありますので、是非皆さんにも観光に来て頂きたいです。



「森の巨人たち100選」のサワラの木



毎年山開きが開催される二俣山 (1544m)

事業については、造林、製品生産、立木販売と多岐にわたっていますが、森林官1人のため非常勤職員や支署の職員の力を借りながら業務を行っております。また、ここ数年、小水力発電や風力発電といった開発行為を伴う新規貸付案件等の管理案件が増え、支署担当者と法令等の確認に苦慮しながら業務をしているとことです。また、造林地ではシカによる食害も見受けられることから、センサーカメラによる定点観測を行い、シカの繁殖状況を調べ、今後の対策を考えることにしております。



小水力発電事業の説明を受ける筆者ほか



センサーカメラ設置中の筆者

最後に、当事務所管内は人工林より天然林が多いことから、次の世代にも引き継げるよう公益的機能の発揮を重視した管理経営を目指し、国有林がもっと親しみやすい場所になるよう、地元住民の皆さんの協力を得ながら、取り組んでいきたいと思っております。